

教授

八木康夫

■ 学歴

1. 1987年 筑波大学大学院修士課程 修了

■ 学位

1. 2003年 博士（医学）「産業医科大学 B-252号」

■ 研究分野

1. 運動生理学
2. 心理生理学
- 3.

■ 研究キーワード

1. 運動
2. 認知
3. 加齢

■ 研究課題

1. 高次脳機能に及ぼす運動の効果について
2. 運動パフォーマンス、代謝経路や高次機能に及ぼすサプリメントや栄養素の効果について

■ 担当授業科目

1. 運動と健康（前期）（栄養学科）必修
2. 運動と健康（前期）（英語学科・観光文化学科）必修
3. チームスポーツ（前期）（栄養学科・英語学科・観光文化学科）選択
4. チームスポーツ（前期）（看護学科）選択
5. チームスポーツ（前期）（福祉学科）選択
6. 運動栄養演習（前期）（栄養学科）選択
7. 運動生理学（後期）（栄養学科）選択
8. 運動・環境と栄養（後期）（栄養学科）選択
9. 生涯スポーツ（後期）（栄養学科・英語学科・観光文化学科）選択
10. 生涯スポーツ（後期）（看護学科）選択
11. 生涯スポーツ（後期）（福祉学科）選択
12. 卒業研究ゼミ（3年後期～4年前期）（栄養学科）選択
13. 卒論ゼミ（3年後期～4年前期）（栄養学科）選択

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【 運動と健康 】</p> <p>講義は、PC を用いて PowerPoint を活用した。資料は、スライド資料と必要データをプリント配布し、Google classroom も必要に応じて用いた。毎授業で、復習を兼ねて基本事項を調べまとめる課題を作成してもらい、知識の定着を図った。</p>
2.	<p>授業科目名【チームスポーツ】</p> <p>学期の始講と最終講で、形態・体力測定及び体組成(体脂肪量等)の測定を行ない、自己の現状把握、具体的な行動目標を立ててから受講させた。「筋力トレーニングの方法、トレーニング機器の使い方」、「心拍数基準の持久性トレーニングの方法」、「ストレッチ体操の実際」の講習時間を設け、これから自ら運動の処方することを促した。毎回の授業では、カロリーカウンター装着によって、学生自身が運動の量や強度を観察記録し、個々の運動意欲を喚起した。期末に運動量の総括と自己評価をおこなった。集団スポーツ種目を主に実施し、チームミーティングを重視し、自チームの練習方法、戦略立案や個々人の役割分担、現チームの中での個々のポジティブなあり方など考えた積極的な行動を促した。</p>
3.	<p>授業科目名【生涯スポーツ】</p> <p>学期の始講と最終講で、形態・体力測定および体組成(体脂肪量等)の測定を行ない、自己の現状把握、具体的な行動目標を立てて活動した。毎授業時にカロリーカウンターにて自己の運動量と強度の関係、運動意欲の喚起を促した。期末にて実習期間全体の自己評価、健康度と運動量、体組成の変容と運動量との関係、身体運動の程度と運動量の関係理解を図った。運動種目にラケット競技のペア種目を導入し、個々の技能到達度から練習目標を設定し、分担してルールや器具の使用法の解説、勝利を目指した能動的チームワークの形成を図った。</p>
4.	<p>授業科目名【運動生理学】</p> <p>講義では Power Point を活用し、資料提示等、少人数を利用し、対話、双方向の教育指導をおこなった。毎講義後に単元のまとめ小テストを行い、単元要点を確認する作業をおこなわせた。さらに講義ノートを作らせ、全授業終了後に採点・添削し評価に加えた。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1992.4	日本運動生理学会	常任理事（2008.7~2023.3）
2.	1985.4	日本体力医学会	評議員,会計委員(2017.4~2022.3)
3.	1991.4	日本生理学会	101 学術大会委員（2023.4~2024.3）
4.	1997.4	日本臨床神経生理学会	
5.	1990.4	西日本生理学会	
6.	1988.4	九州体育学会	

■ 研究業績等に関する事項（2023 年度）

発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要

(著書)					
1.					
2.					
3.					
(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.	2024.5	全九州大学 バスケットボール 春季選手権 大会	共	九州大学バスケットボール連盟	全九州の大学バスケットボール競技部の選手権大会で第5位であった。顧問:八木康夫 監督:溝口博
2.	2024.5	全九州大学 バスケットボール 新人大会	共	全九州大学バスケットボール春季選手権大会	全九州の大学バスケットボール競技部の1・2年生大会で、全日本新人インカレ出場権(上位2大学)を争う大会で3位であった。顧問八木康夫・監督溝口博
3.	2024.11	全九州大学 バスケットボール リーグ戦(一部)	共	九州大学バスケットボール連盟	全九州の大学バスケットボール競技の上位6校(一部)で選手権及び全日本インカレ出場権(上位3大学)を競う大会で第6位であった。顧問:八木康夫 監督:溝口博

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位:円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備考

1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2011.5.25～至現在	日本バスケットボール協会	JBA 公認 C 級コーチ
2.	2015.3.26～至現在	日本体育協会	指導員
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2002.4～至現在	入試委員会	
2.	2023.4～2024.3	紀要委員会	
3.	1987.4～至現在	バスケットボール部	顧問・監督
4.			
5.			
6.			